

地域おこし協力隊に新隊員が 着任しました

◎問い合わせ
本庁商業観光課(内線272)

5月1日、小川ちひろさんと田名部茜さんが地域おこし協力隊(観光化推進員)に着任しました。小川さんは「台湾向け交流促進コーディネーター」として、台湾との文化・教育の交流促進、台湾からの観光客誘致の促進、物産の販路開拓の支援などを行います。田名部さんは「体験型コンテンツコーディネーター」として、カヌーやラフティングなど自然を活用した体験プログラム、農業体験や農家民泊などの農村資源を生かしたプログラムの構築を行います。市の協力隊は、2人が加わり4人になりました。それぞれの分野での活躍が期待されます。



小川 ちひろ(おがわ ちひろ)

◎昭和62年、東京都目黒区生まれ。早稲田大学人間科学部人間環境科学科卒業。趣味は靴下集め、食べること、お酒を飲むこと。「募集の際の現地説明会で、自然の豊かさや人の温かさに魅了されました。奥州市が取り組む台湾との交流促進のため、台湾でのワーキングホリデー、オーストラリアでの留学経験などを活かし、台湾を含めた海外の皆さんへ魅力を伝えていきたいです」

田名部 茜(たなべ あかね)

◎平成7年、神奈川県横浜市戸塚区生まれ。立教大学法学部国際ビジネス法学科卒業。趣味は歩く旅、本屋巡り。「現地説明会で奥州市に暮らし生きる人たちに接し、奥州市の景色や暮らしに都会では感じることでできない魅力を感じました。その魅力をもっと多くの人に感じてもらいたいです」



藤野浩太地域おこし協力隊(カヌー普及員)の指導の下、カヌーに挑戦する2人

介護予防・生活支援サポーター 養成研修を開催します

◎問い合わせ
本庁地域包括ケア推進室
(内線269)

高齢者が住み慣れたまちで暮らし続けられるよう、介護予防や生活支援の担い手となる地域の人材を養成する講座です。共に学び、地域の支えとして活躍してみませんか。

■日時 6月28日(困)、7月5日(困)、12日(困)(全3回)

午前9時～午後0時半

■場所 水沢地区センター

■受講料 無料

■定員 30人

■対象区分

①元気応援型通所サービスの従事者

②介護予防や生活支援の活動への意欲がある人

■申込方法 電話またはファクス、メールで住所、氏名、生年月日、電話番号、対象区分を連絡

■申込期限 6月25日(困)

■申込先 本庁地域包括ケア推進室(内線269)、

☎2373、✉houkatsucare@city.oshu.iwate.jp

科目	内容
介護概論	- 介護保険制度 - 奥州市の現状と総合事業
高齢者の特徴と対応	- 老化に伴う心身の変化 - 高齢者特有の疾病
介護技術	- 奥州市の介護予防 - 介護の心構えと留意点 - 困難時の対応方法
ボランティア活動	- ボランティア活動の意義 - 奥州市のボランティア活動
緊急対応	普通救命講習(講義、実技)
認知症の理解	認知症サポーター養成講座
コミュニケーションの手法	- 共感、受容、傾聴的態度のポイント - 基本的なコミュニケーションのポイント
オリエンテーション	- 活動の場の紹介 - 総合事業の担い手について



<今月の表紙>

いわて奥州きらめきマラソン

初開催となった昨大会が「全国ランニング大会100撰」に選ばれた、「いわて奥州きらめきマラソン」の第2回大会が5月20日に行われました。写真はフルマラソンスタート直後の様子。ランナーは、沿道の市民やボランティアスタッフからの熱い声援を受け、完走を目指しました。【関連記事：10～11頁】



CONTENTS

2 キラリ輝く奥州人

3 地域おこし協力隊に新隊員が着任しました
介護予防・生活支援サポーター養成研修を開催します

4 財政状況の公表

6 ILC希望のひかり

7 せいかつ百科

市長コラム「おうしゅう羅針盤」

8 奥州の春まつり グラフ②

9 街diary

10 いわて奥州きらめきマラソン グラフ

12 いいところ、知っとこ おうしゅう

Public Relations Magazine Oshu City

2018.6 Vol.148

広報おうしゅう
平成30年6月号



メインローターの取り付け作業を入念に行う

千田 功 さん(42歳) ＝胆沢南都田字荻ノ窪＝ 高品質米生産のため 操縦技術の向上を目指す

光り輝く新型の産業用無人ヘリコプター。この機体を操縦し、田んぼに農薬を散布するのは千田功さんだ。高校卒業後、前沢の会社に就職。ある日、テレビ番組を見てみると、「自然と共に心豊かに生きたい」と農業を営む高齢者が語った。その言葉に感銘を受けたという功さんは、32歳で会社を退職し、就農を決意する。父親から農業を学び、現在は約7畝の水田を耕作している。

正確な農業散布で高品質な米の生産につなげたいとの思いから、操縦技術を学び始める。胆沢地域農業用無人ヘリコプター協議会に所属する功さんは、同会員の佐藤達也さんと共に、昨年10月に水戸市で開かれた全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会に挑む。操縦役と指示役の2人1組の競技。功さんが操縦し、抜群のコンペニションで前後進飛行Bの部で優勝を果たす。

「共に働く仲間が増えてもらえば」と会員募集を呼びかける功さんの農業への情熱は尽きない。



ちだ・つとむ◎昭和51年、胆沢生まれ。地元消防団活動に積極的に取り組み、地域住民の安心と安全を守る。車好きで、スポーツカーを購入することが夢。祖母、両親、妻、子ども1人の6人家族